

「長野県」版



*イメージ

長野県

長野県は、本州の中央部に位置し、地形は東西が約120km、南北が約212kmと南北に長く、面積は13,662km²です。日本の屋根と呼ばれる日本アルプスをはじめとした標高3,000m前後の山々に囲まれており、地形の複雑性から気候は、地域差の大きい内陸性気候となっています。

県民の平均寿命は男女ともに全国トップクラスで、一人当たり老人医療費が最も低いなど、全国有数の「健康長寿県」です。

1998年の冬季オリンピック・パラリンピックの開催地であり、スキー場、高原リゾート地、県内各地に湧き出る温泉に恵まれ、一年を通じて楽しめる観光地が数多くあります。

また、電子・精密など高い技術力を有するものづくり産業、特色ある農林水産物、恵まれた自然環境や美しい景観、伝統の食文化などの豊富な地域資源があります。

長野県章
長野県のかしん文字の「ナ」を四角の中に置き、獲得する鳥をかたち取り、さらに「ナ」の横線を中心に山と、それを翼に映す姿を表現しています。
これは、長野県の自然と県民の友愛と団結により、あらゆる困難を切り抜けて、未来に向かって発展し、幸福なる夢を夢見しています。
この県章は、一般からの応募に基づいて、昭和41年12月28日に制定され、昭和42年1月1日から用いられています。

長野県の鳥(らいちゅう)
高山に生息する鳥で、雄よりやや大きく、国の特別天然記念物に指定されています。湖や池の生活にも耐えるように足に羽毛が伸び、翼はつややか、冬には頬白の帯によって羽の色が変わります。
県内では、2,400m以上の高山のハイマツ帯に生息し、ハイマツから人なつづけに首をもたげる藤子はとても愛らしい姿です。

長野県の花(らんどう)
やや乾いた山地や草地に自生し、9-11月ごろ紫色の美しい花を咲かせます。茎は通常30-60cmですが、大きいものは1mくらいものもあります。
気温あるこの花が咲くと秋の深まりを感じます。

種類	80円郵便切手 1シート8枚
① 上高地	眼前には雄大な雄高連峰がせまり、また、梓川の清流がすがすがしい響音をたてて流れています。 日本の代表的な山岳景勝地です。
② 紫の花畑	北信濃の春、千曲川沿いには紫の花が咲き誇り、ふるさとの初夏風として高野聖之(長野県出身)が作詞した「薫(おぼろ)月夜」にも歌われています。
③ 安曇寺八角三重塔	県内東に建つ日本で唯一の八角形の三重塔は、中国時代の禅宗様(唐様)の形式で建築されており、国宝に指定されています。
④ 松本城	戦国時代に造られた深志城が地まりで、現存する五重六階天守の中では日本最古の城です。国宝に指定されています。
⑤ 万治の石仏	諏訪大社下社春宮裏にあり、高さ2mあまりの半球状の自然石に顔が乗っているユニークな石仏です。
背景	善光寺 (写真提供: 善光寺)
写真撮影及び提供	② 長野県 ③ 藤田 利彦 ④ 宮本 孝義 ⑤ 下諏訪町
デザイン	丸山 智(切手デザイナー)
発行日	平成21(2009)年5月14日(木)
版式刷色	グラビア6色
印刷寸法	① 縦36.0mm×横30.0mm ②-⑤ 縦30.5mm×横25.0mm
小切れ寸法	縦39.0mm×横33.0mm ②-⑤ 縦33.5mm×横28.0mm
シート寸法	縦175.0mm×横93.5mm



500円ハイカラーシートカット切手の概要

額面	500円
素材	ニッケル黄銅、自動及び刷
品位	純75%、銀12.5%、ニッケル12.5%
重量	7.197g
厚さ	26.35mm(厚)
その他特徴	裏面に浮き彫り、防偽等